

平成22年度瀬戸内市次世代育成支援地域行動計画(後期計画)に基づく措置の実施状況及び評価

基本目標 1 子育て家庭の支援

(1) 地域における子育て家庭の支援

① 保育サービスの充実

NO.	施策・事業	現状(平成21年度末)	平成22年度実施状況	評価	担当課
1	通常保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の認可保育所が設置されています。入所率に偏りがあり、施設数の調整が必要となっています。 ・0歳児保育を7か所の認可保育所で実施しています。 ・施設や設備の老朽化による改修が必要となっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【新設保育園等施設整備】 ・安心こども基金を活用し、長船駅前に民間保育所を新設(平成23年4月開所)。 【0歳児保育】 ・7か所の認可保育所で継続実施。 【施設整備】 ・継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間保育所の新設等により、公立保育園(2園)のホール保育解消につながりました。 ・随時、保育施設や遊具等の整備・改修に努めました。 	子育て支援課
2	延長保育事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育所で、30分または1時間型の延長保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度年間延べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 1,172人 あいあい保育園 1,082人 邑久保育園 761人 福田保育園 809人 今城保育園 86人 長船東保育園 257人 長船西保育園 303人 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての認可保育園で実施し、保護者の利用ニーズに対応できました(玉津保育園は利用なし)。 	子育て支援課
3	休日保育事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズを把握する必要があります。 	子育て支援課
4	幼稚園での預かり保育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・8か所の幼稚園で実施しています。(全幼稚園10園中、休園1園、認可保育所と併設1園) 	<ul style="list-style-type: none"> 【預かり保育】 ・8か所の幼稚園で実施(全幼稚園10園中、休園1園、認可保育所と併設1園)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間預かりの希望者は少ないですが、兄弟の学校行事や家庭の都合等、一時預かりの希望者は多いです。 	総務学務課
5	認可外保育施設による保育サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2か所の事業所内保育施設が設置されています。 ・裳掛児童館(市単独事業)で保育サービスを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【事業所内保育施設】 ・未実施。 【裳掛児童館】 ・継続実施(H23.3月入所児童数16人)。 	<ul style="list-style-type: none"> 【裳掛児童館】 ・市単独事業として保育サービスを実施しました。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
6	幼保一体化・一元化に向けた関係機関との調整	・玉津幼稚園と玉津保育園の施設共用化を実施しています。	・玉津幼稚園と玉津保育園の施設共用化を実施しました。	・幼稚園の保育の様子を保育園や小学校にも公開し、情報交換を行います。	総務学務課
			・園と健康づくり推進課との連絡会をもち、新入園児の受け入れを連携して行いました。	・相互訪問等により計画的な幼保の交流が行われつつあります。	
			・継続実施。 玉津保育園（H23.3月児童数）15人 玉津幼稚園（H23.3月児童数）3人	・必要に応じて施設共用化等に取り組み、実施することによりコミュニケーションがとれ、児童の活動も活発化しました。	子育て支援課
7	認可保育所におけるサービスの質の向上に向けた職員研修等の充実	・県主催の現地研修会の開催や、専門家チーム員及び巡回相談員派遣（県巡回相談）を要請し、指導・助言等の支援を受けています。	・継続実施。	・県・市保育協議会、旭川荘主催の研修会、セミナー等に参加し、個々のケースについても指導・助言を受け、保育の現場で活かせることにより、質の向上につながりました。	子育て支援課
8	認可保育所における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	・安全危機管理マニュアルを策定するとともに、警察署と連携して、不審者対応訓練を年3回実施しています。	・継続実施。	・スクールサポートセンター（県青少年サポートセンター）からの派遣で、職員（女性）向けに防犯訓練の実施、子ども向けには紙芝居等により対応する知識が身につき、安全危機管理体制の確保につながりました。	子育て支援課
9	認可保育所保育料低額基準額の設定による経済的支援	・認可保育所保育料の設定について、国の基準よりも低額な規準で実施しています。	・市内の認可保育所保育料については、国の基準よりも低額な基準で設定。	・子育て家庭の経済的支援につながりました。	子育て支援課

②子育て家庭を支援する多様なサービスの充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
10	病児・病後児保育事業の充実	・病児・病後児対応型が1か所設置されています。	【病児・病後児対応型】 ・市広報紙、市ホームページへの掲載、チラシ配布、市内保育園・幼稚園・小学校への訪問等で周知を図りました。 【体調不良児対応型（自園型）】 ・未実施。	【病児・病後児対応型】 ・PR活動などにより利用者数が前年度の1.6倍に増えました。	子育て支援課
11	一時預かり事業の充実	・4か所の認可保育所で実施しています。	・平成22年度年間述べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 180人 あいあい保育園 211人 邑久保育園 629人 長船東保育園 543人	・4か所の保育園で実施し、子育て家庭への支援を図りました。	子育て支援課
12	ショートステイ事業（短期入所生活援助事業）の充実	・2か所の児童福祉施設への委託により実施しています。	・継続実施（旭川乳児院、若松園に委託）しましたが、利用者はいませんでした。	・緊急時の一時的に児童を養育することにより、子育て家庭への支援を図りました。	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
13	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・9か所の放課後児童クラブが設置されています。 ・クラブ代表者による学童保育連絡会議を開催し、情報交換や課題の検討を行っています。 ・指導員の研修会を実施するとともに、長期休暇期間（夏休み等）の指導員増に対して委託料を加算しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1か所増え、10クラブで実施。 ・指導員研修会及びクラブ代表者による学童保育連絡会議を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の指導員研修会を実施し、指導員の資質の向上を図りました。 	子育て支援課
14	地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・牛窓地区・邑久地区にある4つの認可保育所に地域子育て支援センターを併設しています。 ・各センターでは、子育てに関する相談をはじめ、センターだよりの発行など子育てに関する情報提供、講習会の開催、母親クラブ等の支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長船駅前の新設保育所に地域子育て支援センターを併設（平成23年4月開所）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長船地域で初めての地域子育て支援センターを設置することができました。 	子育て支援課
15	ファミリーサポートセンター事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員と提供会員による子育て支援の仕組みとして、センターを1か所設置（認可保育所に併設）しています。 ・提供会員の養成を目的に、保育サポーター養成講座を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年3月末の登録会員数は、依頼会員26名、提供会員26名、依頼会員兼提供会員5名、計54名。平成22年度相互活動は32件。 ・平成23年3月に提供会員交流会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の利用者が限られているため、制度の周知を図る必要があります。 	子育て支援課
16	マイ保育園サポート事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦や3歳までの子どもと保護者を対象に、身近な認可保育所等（計9か所）で、施設開放・育児体験・子育て相談・マイ保育園一時保育（4か所）が利用できる事業を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての保育園等（9か所）で実施。（マイ保育園一時保育事業は4か所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児相談など多くの登録者が利用しており、子育て支援につながっています。 	子育て支援課
17	幼稚園での子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園では、未就園児の親子登園、子育てサークルの支援、子育てに関する相談・情報提供等を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園では、未就園児の親子登園、子育てサークルの支援、子育てに関する相談・情報提供等を実施（4月を除く）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の開放、教育相談の随時実施が好評でした。 	総務学務課

③子育て家庭への情報提供・相談体制の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
18	子育て支援マップや子育てガイドブック等の作成・配布	・児童虐待防止の啓発チラシの裏面を活用して、市内の子育て支援機関のマップを作成しています。	・安心こども基金（地域子育て支援事業）を活用し、妊娠期から子どもの成長過程に沿った子育てに関する各種制度などを紹介した子育て応援冊子を作成。 ・また、市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て応援マップを作成。冊子・マップともに市役所等の保健福祉窓口、保育園等に設置しました。	・市の子育てに関する情報を分かりやすく伝えることができました。また、マップの作成を通じて、市内公共施設はもちろん、民間の商店・施設等の事業者に対して、子育て環境整備について考えさせる良い契機となりました。	子育て支援課
19	市広報や市HP等を活用した情報提供の強化	・子育て支援に関する制度やサービス等について、市広報や市HPに掲載しています。 ・市の健康づくり通信に母子保健情報を掲載し、愛育委員による回覧を行っています。	・安心こども基金（地域子育て創生事業）を活用し、妊娠期から子どもの成長過程にそった子育てに関する各種制度や、子育てに役立つ情報などをインターネットで紹介する子育て応援サイト（ホームページ）を作成。 【市広報等による情報提供】 ・広報紙により親子クラブ、妊婦健診等について広報を行いました。 【愛育委員による情報提供】 ・愛育委員による声掛けと、回覧により情報提供を行いました。	・インターネットを通じて、子育てに関する最新の情報を提供することができました。 ・市民全体に情報を提供できたので効果的だと思われれます。	子育て支援課 健康づくり推進課
20	母子保健事業を通じた情報提供の充実	・乳幼児健診や育児相談で、年齢や発達状況に応じて、健康管理や子育てに関するパンフレット等を配布しています。 ・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。	・乳幼児健診や育児相談で、年齢や発達状況に応じて、健康管理や子育てに関するパンフレット等を配布しています。乳児健診24回、1歳6か月検診12回、2歳児健診12回、3歳児健診12回。 ・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、親子交流会によりベビーマッサージ講座や食育の紙芝居等を実施。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行いました。訪問数1,029件。	・乳幼児健診ではスタッフを配置し、十分に情報の伝達ができていると思われれます。また、愛育委員手づくりのおもちゃを持って訪問し、受診勧奨を行うことについても好評です。	健康づくり推進課
21	親子クラブの活動支援	・親子クラブの運営・活動に関する相談や、情報提供等を実施しています。	【親子クラブ活動支援】 ・親子クラブの運営・活動に関する相談や情報提供等を実施しました。会議1回。合同研修会1回、参加人数48組。	・親子クラブの会議を開催し、活動支援ができています。	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
22	地域子育て支援センターによる情報提供や相談の充実	・各地域子育て支援センターでは、毎月センターだよりを発行するとともに、利用者からの相談、情報提供を実施しています。	・平成22年度年間延べ利用人数 牛窓ルンビニ保育園 6,902人 あいあい保育園 2,403人 邑久保育園 5,444人 福田保育園 3,607人	・多くの方が利用し、子育て家庭の支援につながりました。	子育て支援課
23	児童相談援助の充実	・福祉事務所の家庭児童相談室を兼務し、家庭相談員と社会福祉主事（保健師）により相談を実施しています。	・家庭相談員は欠員でしたので、社会福祉主事（保健師と事務職）により、児童相談所の助言を仰ぎながら、児童相談援助をすすめました。	・児童相談援助活動は、児童福祉のソーシャルケースワークであり、専門性の高い技術が求められるため、児童福祉司等、専門職の配置が不可欠です。	子育て支援課
24	子育て支援の総合相談及びコーディネート機能の設置検討	・各機関が既存事業の中でそれぞれ対応しています。	・本庁へ子どもに関する総合相談窓口を設置するため、子ども教育検討プロジェクトチームで課題として取り上げ、調査研究を行っています。	・市の窓口対応を検証し、妊婦や子育て家庭の利用しやすい窓口とするため、具体案を示して関係課と機構改革も含めた協議を行い、平成24年度中の開設を目指しています。	子育て支援課

④子育て家庭支援のネットワークづくり

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
25	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 80、107	・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。	・安心子ども基金（地域子育て創生事業）を活用し、「子どもと子育てを応援する環境づくり」に向け、既存の市子育て支援ネットワークを活用しながら、子育て応援まちづくりイベント「せとうち子どもフェスティバル」を開催しました。来場者約1,500人。	・約180人のイベント参加者のうち、愛育委員や栄養委員、読み聞かせボランティアグループなど、約120人がボランティアとして参加。子育て支援の輪を広げながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。	子育て支援課
26	健康づくり事業での子育て支援関係団体の連携強化	・年1回の健康フェスタで、民生委員児童委員・愛育委員・栄養委員・各種団体等との連携のもと、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供を行っています。	【健康フェスタ】 ・年1回の健康フェスタで、民生委員児童委員・愛育委員・栄養委員・各種団体等との連携のもと、昔遊びの伝承や絵本の読み聞かせ、食育や子育てに関する情報提供を行いました。平成22年度は牛窓町公民館で実施しました。全体参加者600人。	・健康フェスタで親子遊びを中心としたコーナーに親子連れでの参加があり、楽しいイベントとなりました。	健康づくり推進課

(2) 子どもの健全育成

①世代間や地域交流の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
27	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】No. 81	・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。	・子どもや親子を対象に、地域の高齢者が講師となり、郷土料理や季節の行事など、講座を開催。 【子ども体験教室（各公民館）】 ・週末を中心に子どもの体験活動を提供。活動の講師等に地域の大人が協力。 わくわくチャレンジ 25回 1,560人 お話会 62回 530人 うさぎの学校 11回 404人	・「〇〇名人さんに教わろう」、「おじいちゃんといっしょに」等の講座で、幼児と高齢者の交流が深まりました。 ・地域の大人が活躍して子どもに豊かな体験活動を提供することができました。	総務学務課 社会教育課
28	認可保育所での地域活動の推進	・老人クラブ、愛育委員、更生保護女性会、ボランティア等の協力・連携のもと、園内外で地域交流を行っています。 ・中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。	・地域、ボランティア等の協力により、各園絵本の集い（読み聞かせ）を毎月実施、絵手紙体験、生け花教室、グランドゴルフ体験等、またナーシングホーム・あじさいの丘・楽々園慰問、瀬戸地区寿会交流会等々、それぞれ園内外での地域交流を行いました。 ・市内中・高校生訪問、ボランティア受け入れ、就実短大生・長島愛生園看護学生実習等を行いました。	・各園、多方面から地域の交流を深めることができました。	子育て支援課
29	放課後児童クラブでの交流活動の推進	・地域のボランティアが有するスキルを活かした放課後児童クラブの活動を行う際、事業費の負担を行っています。	・地域ボランティアを講師に招き、絵本読み聞かせ会、手芸教室、けん玉教室などを実施したクラブに対して、講師謝礼などの費用を補助。	・事業を通して、高齢者や地域ボランティアと児童との交流を深めることができました。	子育て支援課

②いじめ・少年非行、引きこもり・不登校等への支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
30	子ども人権相談の充実 【再掲】No. 102	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談が開催されています。子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	【子ども人権相談】 ・通常の人権相談と併設して、夏休み・冬休み・春休み期間に子ども向け人権相談を開設。人権擁護委員と連携を図り、会場の確保や啓発活動を実施。 牛窓会場： 8/25、12/22、3/30 邑久会場： 8/19、12/27、3/28 長船会場： 8/27、12/24、3/25	・計画どおり実施。子どもへの周知が不足していました。	市民課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
31	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 103、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議5/18に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議12回開催。	・会議を設けることで、要保護児童に係る情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。特に、困難ケースについては、個別ケース検討会議を設け、児童相談所や学識経験者のスーパーバイズを受けて、関係者がケース情報や課題を共有し、支援の役割を確認し、支援体制を整えることができました。	子育て支援課
32	青少年育成センターによる補導活動の実施	・指導員による日常的巡視（JR駅での補導活動）、広域合同列車巡視、JR駅での早朝巡視、すこやかハートランド清掃、声かけなどを実施しています。	【巡視活動】 ・指導員による日常的巡視（JR駅での補導活動）、広域合同列車巡視、JR駅での早朝巡視、すこやかハートランド清掃、声掛けなどを実施。	・地道な活動の継続により、非行の抑止力となっています。	総務学務課
33	不登校児童生徒への支援	・適応指導教室「のぞみ」を設置し、心理的原因による不登校の児童生徒の支援や、学校・スクールカウンセラーとの連携を行っています。	・適応指導教室「のぞみ」を設置し、心理的原因による不登校の児童生徒の支援や、学校・スクールカウンセラーとの連携を促進。 ・近隣市の適応指導教室と合同の活動を年間3回実施。	・適応指導教室へ来室した不登校児童生徒のうち多くが学校復帰できました。 ・地域生活支援センタースマイルとの連携が深まりました。	総務学務課
34	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】No. 71	・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。	【スクールサポーター配置】 ・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置（年間35回）。	・教職員と連携した生徒指導が充実しました。	総務学務課
35	関係機関の連携確保	・青少年の実態把握や、青少年にかかわる各種団体の活動情報を共有するため、青少年問題協議会を開催しています。	【青少年問題協議会】 ・8月3日に開催。地域の青少年を取り巻く環境や青少年の活動状況について意見を交換しました。	・地域の状況や青少年の活動状況など情報の共有化を図ることができました。	社会教育課

③各種団体が行う活動への支援や施設等の活用・充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
36	民生委員児童委員・主任児童委員の活動支援	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や、各種研修会・会議等への参加について、連絡調整等の支援を行っています。	・学校訪問による児童生徒の状況把握及び情報交換などの活動を行いました。	・民生委員児童委員・主任児童委員による学校訪問活動や各種研修会・会議等を開催し、積極的に活動しています。	福祉課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
37	施設使用料の減免及び活動費の補助	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する活動を行う団体に、市や市教育委員会が所有する施設等における使用料の減免を行っています。 ・子どもの健全育成にかかわる各種団体の活動費の補助を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【子育て支援団体活動費の補助】 ・子育て支援団体について、公民館使用料等の減免登録を行いました。 ・保育園保護者会、親子クラブ等18団体に対し、活動費の補助金を交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が所有する施設での利用がしやすくなり、活動の推進につながりました。 ・各種団体の活動費の補助により、地域住民の積極的参加による地域組織活動の促進を図ることができました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 【ゆめトピア長船使用料の減免】 ・ゆめトピア長船使用料の減免を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成にかかわる各種団体の方々に多様にわたり使用していただいています。 	福祉課
			<ul style="list-style-type: none"> 【社会教育施設使用料の減免】 ・公民館や体育館など活動の目的に応じた減免を実施しました。 【社会教育団体活動費補助金】 ・スポーツ少年団やFOS少年団、B&G海洋クラブに対して活動費補助金を交付しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成をすすめる団体の活動が活性化することを促進できました。 	社会教育課
38	青少年健全育成に関する学習機会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成推進大会を開催し、明るい家庭づくり作文の表彰及び発表や、記念講演を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【青少年健全育成推進大会】 ・2月19日に開催。明るい家庭作りの作文表彰・発表及び記念講演会を行いました。参加者140名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年が家庭の中で輝いて活動する様子や地域への愛着・貢献について地域に向けて発信することができました。今後より広く伝えるために、各団体との更なる連携協力が必要です。 	社会教育課
39	集会所等を活用した地域づくり活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態に即した自主的な地域活動の活性化を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等が実施する地域の行事、環境整備、ふれあい事業等に対し補助金を交付しました。対象経費の2分の1補助で、各自治会の人口一人当たり400円を限度額として交付。活用自治会は68団体。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金について各自治会の行政委員を対象に説明会、資料送付を行いました。活用されたのは3割弱の自治会でした。 ・自治会活動そのものがしにくくなっている状況も見受けられ、今後の課題であると思われれます。 	まちづくり推進課 関係各課
40	児童遊園地の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童遊園地を整備及び管理する自治会等を対象に、遊具の新設、増・改設の事業費の一部を補助しています。 ・市で管理する児童遊園地の安全点検を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童遊園地を整備及び管理する自治会等に対し、遊具の新設、増・改設等事業に補助金を交付しました。 ・平成22年度は3自治会（5公園）に対し、補助を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具が整備・修繕されることにより、子ども達の安全性の確保や健全な育成に役立っています。 	子育て支援課

④経済的支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
41	子ども手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当法に基づく児童手当を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度における子ども手当の支給に関する法律等に基づき、H22.4月分からの子ども手当を支給しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援する（平成22年度における子ども手当支給に関する法律第1条）」という目的をほぼ達成できました。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
42	出産育児一時金の支給	・国民健康保険法に基づく出産育児一時金を支給しています。	・25件支給。	・計画どおり実施しました。	市民課

（3）多様な働き方の実現及び仕事と子育ての両立の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
43	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 65、79	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	・岡山県男女共同参画推進センター等から情報提供のあったチラシや「ウィズカレッジ」等の講座について、市ホームページに掲載し、市民への広報を行いました。	・ホームページやチラシを市内関係施設に配布するなど、市民へ関連の啓発事業について広報できました。 ・瀬戸内市男女共同参画基本計画の見直しについては、実行可能な計画にしていこうと、継続して検討し、23年度に持ち越しとなりました。	まちづくり推進課
44	育児・介護休業制度の普及啓発	・未実施。	・基本計画の見直しについては、市民の皆さんとともに実行可能な計画にしていこうと、継続して検討し、23年度に持ち越しとなりました。その中で盛り込んでいきます。	・23年度に持ち越し。	まちづくり推進課 関係各課
45	働き方の見直しについての意識啓発	・未実施。	・No. 44に同じ。	・23年度に持ち越し。	まちづくり推進課 関係各課
			・子育て応援冊子の中で、育児休業など、仕事を続けながら育児をする方を支える制度を紹介しました。	・「お父さんの子育て」コラムの中で、仕事と日常生活のバランスを考え、時間管理や仕事内容を工夫するよう、呼び掛けました。	
46	次世代育成支援一般事業 主行動計画の策定促進	・未実施。	・市広報紙9月号に計画策定・届出義務企業の拡大に関する記事を掲載しました。	・市広報紙に掲載することにより、市内企業への周知に努めました。	子育て支援課
47	女性の再就職への支援の強化	・未実施。	・No. 44に同じ。	・23年度に持ち越し。	まちづくり推進課 関係各課
			・未実施。	・マザーズサロン等の制度を研究し、ハローワークとの連携強化が必要となります。	

基本目標2 子どもと母親の健康の確保と増進

(1) 子どもと母親の健康の確保

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
48	母子健康手帳の交付	・手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行っています。	【アンケートの実施と妊婦支援】 ・手帳交付時にアンケート調査を行い、妊娠中の健康管理や過ごし方等について、面接指導を行っています。母子手帳交付件数283件。	・ゆめトピア長船では保健師による面接ができていますが、分室・牛窓支所ではアンケートに答えていただき、後に電話連絡をしています。	健康づくり推進課
49	保健指導の充実	・生後1～2ヶ月頃、保健師や助産師が訪問や電話連絡等により、健康管理や育児の不安、悩み等に対する相談支援を実施しています。	【早期乳児支援】 ・生後1～2か月頃、保健師や助産師が訪問や電話連絡等により、健康管理や育児の不安、悩み等に対する相談支援を実施しています。全戸訪問件数216件。	・全戸訪問事業もほぼ定着しましたが、中には訪問拒否をされる家庭が何件もあります。今後も訪問が当たり前になるように啓発が必要です。	健康づくり推進課
50	乳幼児健診の充実	・多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。	【乳幼児健診の充実】 ・多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。未受診者への電話や訪問を地区担当者が行う仕組みをつくり、状況把握に努めました。	・訪問・健診・育児相談・発達相談などご利用いただける支援を有効に使っていただけるよう、今後も啓発が必要です。	健康づくり推進課
51	からだや社会性、協調性などの発達支援	・児童福祉施設との連携による親子教室を開催しています。 ・発育や発達等に関する乳幼児こころの健康相談を実施しています。 ・専門医による幼児の発達相談を実施しています。	【子どもの発達支援としての心の健康相談・発達相談】 ・児童福祉施設との連携による親子教室を開催しています。 ・発育や発達等に関する乳幼児こころの健康相談を実施しています。 ・専門医による幼児の発達相談を実施しています。	・子どもたちの発達に関する相談は増加しており、育てにくさから生じる虐待についても配慮しながら対応することが必要です。	健康づくり推進課
52	基本的な生活習慣の習得支援	・乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝、早起き、食事時間等の規則的な生活リズムの確立を支援しています。	【規則的な生活リズムの確立支援】 ・乳幼児健診や育児相談を通じて、早寝、早起き、食事時間等の規則的な生活リズムの確立を支援しました。乳幼児健診では全員に栄養指導を行い、育児相談では、栄養士のコーナーを設けて相談を実施しました。	・栄養士による相談コーナーを設けることにより、全員に対して面接を行うことができ、きめ細かな相談業務ができたと思われまます。	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
53	歯の健康づくりの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、虫歯になる可能性を予測するカリオスタット検査を実施しています。 ・カリオスタット検査の結果、虫歯になる可能性の高い子どもを対象に、歯科衛生士による歯科相談（すこやか歯の教室）を開催しています。 	<p>【歯の健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、虫歯になる可能性を予測するカリオスタット検査を実施しています。年間カリオスタット実施者数953件（対象児のみ）。 ・カリオスタット検査の結果、虫歯になる可能性の高い子どもを対象に、歯科衛生士による歯科相談（すこやか歯の教室）を開催しています。年間実施回数12回。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は3歳児健診の虫歯のない子どもの率が25.6%となり、昨年より改善できたと思われれます。 	健康づくり推進課
54	子どもの事故予防	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 ・子育て孫育てセミナーで、市消防職員による乳幼児の救急法の講習を開催しています。 	<p>【子どもの事故予防の啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に、年齢に応じた事故予防のためのチェックリストやパンフレットを配布しています。 ・親子クラブ研修会で小児科の医師による、家庭医学の研修会を実施しました。参加者数48組。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子クラブの研修会は、長時間となり負担がかかってしまいました。今後は時間配分により気を配ることが必要です。 	健康づくり推進課

（2）食育の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
55	地域での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行っています。 ・栄養委員の協力のもと、小学生を対象とした料理教室（わんぱくクッキング）を開催しています。 ・栄養委員が中心となって、子ども会を対象に調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会を開催し、心身発達上の食事の重要性や、乳児期の栄養について指導助言を行いました。開催回数年12回。参加者数年間130人。 ・栄養委員の協力のもと、小学生を対象とした料理教室（わんぱくクッキング）を開催しています（開催小学校：行幸小学校、国府小学校、玉津小学校）。 ・栄養委員が中心となって、子ども会を対象に調理実習を実施しています。スポーツ少年団を対象に年1回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会の場が栄養指導と母親の交流にもなり、大変好評でした。 ・小学校だけでは企画運営が難しい料理教室を開催し、大変好評でした。依頼があった小学校に対して、急だったために協力できなかった事業もあり、協力体制の充実と、計画的な実施が望まれます。 ・スポーツ少年団の関係者は、健康に関する関心も高く、大変好評でした。 	健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
56	認可保育所、幼稚園、学校での食育推進事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 給食だより等を通じて、食に関する情報を提供しています。 給食で使用する食材に地場産物を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【給食の地場産物利用促進】 給食の関係職員と情報交換を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地場産物への関心が非常に高いことが分かりました。量の確保の問題があり、理想どおりに行かない面もありますが、努力を惜みず取り組んでいました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 各保育園で「食育に関する年間計画」を作成し、保護者には給食だより等による食育情報の提供や栄養士等による食育指導を実施しました。また、児童には野菜の植付・収穫体験や地元食材を使つてのクッキング等を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の協力により、さまざまな体験を通じて地元の食材に触れ、また年齢に応じた「クッキング保育」を通し、「食の大切さ」を身につける指導ができ、保護者にも理解を得ることができました。 	子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> 【幼稚園・学校での食育推進】 栄養教諭を1名増員配置し、指導体制が充実しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、学校での年間を通した食育指導計画の作成。 	総務学務課

(3) 思春期保健対策の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
57	心の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 思春期（不登校児童含む）や成人を対象とした、こころの健康相談を実施しています。 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【こころの健康相談】 こころの健康相談を24回実施しました。また、発達支援コーディネーターとの連携も図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援コーディネーターとの連携により学校との情報交換がよりスムーズになりました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 【スクールカウンセラー】 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談体制が充実しました。 	総務学務課
58	未成年者の喫煙及び飲酒、薬物乱用の害についての理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 小・中学校では学級活動や保健授業で指導を実施しています。 高等学校の文化祭で、愛育委員による喫煙防止啓発ポスターの展示やパンフレットを配布しています。 市広報や健康づくり通信に喫煙防止や飲酒の害についての記事を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【喫煙・薬物乱用の害の啓発】 邑久高校の文化祭でタバコや薬物の害について啓発活動を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭というリラックスした雰囲気の中で、高校生に対して情報提供できたことは、大変意義があったと思います。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 【学校での指導】 小・中学校で年間指導計画に位置づけ、学級活動や保健授業で指導を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域とも連携した指導の充実。 	総務学務課
59	思春期保健事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 高等学校の文化祭で、愛育委員による赤ちゃんの抱き方、あやし方など、ふれあい体験学習を開催しています。 健康フェスタで、中学生の参加によるベビーマッサージ教室を開催し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【赤ちゃんふれあい体験】 高等学校の文化祭で、愛育委員による赤ちゃんの抱き方、あやし方など、ふれあい体験学習を開催しました。男子生徒も妊婦体験を実施しました。 邑久高校の協力により授業の一環として親子交流会に参加し、ボランティアとしてベビーマッサージ教室に参加し、赤ちゃんとのふれあい体験を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 邑久高校が積極的に受け入れをしてくださるにより、接点が持ちにくい高校生年齢の生徒たちと、楽しい雰囲気の中で学習していただくことができて効果的だと思われました。 	健康づくり推進課

(4)小児医療の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
60	小児医療体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市立市民病院に小児科が設置されています。（毎週金曜日） ・医師会との連携のもと、休日の当番医制度を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回の診療を継続しました。 ・小児予防接種の受付を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に小児科診療をPRする必要があります。 	病院事業部 関係各課
61	不妊治療に関する支援制度の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報及び愛育委員による回覧で、不妊治療支援制度の普及啓発を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【不妊治療支援制度】 ・市広報紙及び愛育委員による回覧で、不妊治療支援制度の普及啓発を行いました。申請者数11件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年を追うごとに、申請者の件数は増加しています。望まれている制度だと思います。 	健康づくり推進課
62	乳幼児医療費、子育て支援医療費の助成	<ul style="list-style-type: none"> ・県の乳幼児医療費給付事業に基づき、就学前まで入院・通院に係る自己負担分の助成を実施しています。 ・市独自の子育て支援医療費の助成として、小学1年～中学3年までの入院・通院に係る自己負担の一部を助成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【乳幼児医療費給付事業】 ・平成22年10月1日から事業名が「乳幼児医療費給付事業」から「小児医療費給付事業」に変更になりました。 ・県制度に基づき実施（就学前までの入院及び平成22年10月診療分から小学生の入院に係る自己負担の助成）。 【子育て支援医療費の助成】 ・小学生（入院は平成22年9月診療分まで）及び中学生の入通院に係る自己負担の一部を助成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施しました。 	市民課
63	感染症対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報や市HP等で周知しています。 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診や子育て孫育てセミナー等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【感染症予防の啓発】 ・子どもがかかりやすい感染症や、新たに発生する感染症に関する情報及び予防方法について、市広報紙や市ホームページ等で周知しています。 【定期予防接種の勧奨】 ・定期予防接種の受診方法等について、出生届時、家庭訪問、各種健診等の機会に周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種や子どもの感染症に関して関心は高く、定期予防接種は実施できています。今後も手洗いなど基本的な生活習慣も含めて継続して実施していく必要があります。 ・MRの予防接種についてはもう少し受診率を上げる必要があります。 	健康づくり推進課

基本目標3 子どもの健やかな成長を目指した教育環境の整備

(1) 次代の親の育成

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
64	次代の親へ男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生み育てることの意識啓発	・ 中高生による認可保育所への訪問や、夏休み期間中に中高生ボランティアの受け入れを行っています。	【中高生の母子保健啓発】 ・ 高等学校の文化祭で赤ちゃん人形や妊婦体験の道具を活用しながら、命の大切さや妊娠時の配慮について啓発しました。	・ 生徒も大変積極的に子どものオムツ交換や、妊婦体験に取り組むことができ、効果的でした。	健康づくり推進課
			・ 保育所においては夏休み期間中を含め、中・高校生及び2・3月には短大生の訪問やボランティアの受け入れを行いました。	・ ボランティア参加者は児童との触れ合いを通じて子育てへの理解と知識を深めるよい契機となりました。	子育て支援課
65	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 43、79	・ 市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	・ 岡山県男女共同参画推進センター等から情報提供のあったチラシや「ウィズカレッジ」等の講座について、市ホームページに掲載し、市民への広報を行いました。	・ ホームページやチラシを市内関係施設に配布するなど、市民へ関連の啓発事業について広報できました。 ・ 瀬戸内市男女共同参画基本計画の見直しについては、実行可能な計画にしていくことで、継続して検討し、23年度に持ち越しとなりました。	まちづくり推進課 【再掲】

(2) 学校教育・幼児教育の充実

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
66	指導体制の充実	・ 少人数指導や生徒指導の充実に向けて、県からの教員の加配や市による非常勤講師の配置を行っています。 ・ きめ細かな指導を行うために、幼稚園・小学校に支援員を配置しています。	・ 県費加配教員の継続配置及び市費講師の増員により、少人数指導や生徒指導面での指導体制が充実。 ・ 支援員を幼稚園に11名、小学校に13名配置し、きめ細やかな指導を実施しました。	・ 人的強化により、担任の負担軽減と児童生徒へのきめ細やかな指導を実施。	総務学務課
67	道徳教育の推進	・ すべての小・中学校で定期的に道徳授業が展開されています。また、すべての教育活動を通じて道徳性の育成・向上に努めています。	・ すべての小・中学校で道徳の時間を中心とする指導を年間35時間実施。 ・ 各学校では、道徳教育の全体計画を作成。	・ 心のノートを活用した、道徳の時間の充実。 ・ 全体計画の実施、評価。	総務学務課
68	スクールカウンセラーの配置	・ 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置しています。	【スクールカウンセラー配置】 ・ 県教育委員会と連携し、すべての中学校にスクールカウンセラーを配置。	・ 生徒の心理的支援とともに教職員のメンタルヘルスにも貢献。	総務学務課
69	学校評議員制度の推進	・ 各学校で学校評議員を委嘱し、教育活動全般についての意見を踏まえ、活動内容に反映しています。	・ すべての学校で学校評議員を委嘱し、教育活動全般についての意見を踏まえ、活動内容に反映。	・ 学校評価、教育課程編制その他学校経営の参考として寄与。	総務学務課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
70	基本的な生活習慣の確立や健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 ・幼稚園や小学校を対象に、栄養士と栄養委員による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【高等学校文化祭参加】 ・高等学校の文化祭で、栄養委員による食事アンケートの実施やパンフレットを配布し、規則正しい生活習慣の普及啓発を行っています。 【幼稚園・小学校との連携】 ・幼稚園や小学校を対象に、栄養士と栄養委員による健康教育や調理実習を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の文化祭に参加させていただくことで、自然な雰囲気の中、食生活のバランスについて啓発できたと考えます。 	健康づくり推進課
71	小・中学校へのスクールサポーターの配置 【再掲】 No. 34	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【スクールサポーター配置】 ・県教育委員会と連携し、中学校2校にスクールサポーターを配置（年間35回）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員と連携した生徒指導が充実しました。 	総務学務課 【再掲】
72	学校における防犯・応急処置・安全管理体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練が実施されています。 ・すべての幼稚園・小・中学校で定期的な安全点検が実施されています。 ・学校とPTA、地域等が連携して安全パトロール等の活動が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園・小・中学校で防犯や安全のための教職員研修や訓練、定期的な安全点検を実施。 ・学校とPTA、地域等が連携して安全パトロール等の活動が行われています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察スクールサポーターを招聘した実践的な訓練を実施。 ・事務部会が連携し、修繕費等の早期予算化を実施。 ・登下校時の見回りが強化。 	総務学務課
73	幼児教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園で3歳児保育を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての幼稚園で3歳児保育を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児の在園数は全体の3割。 ・保育時間の段階的延長による4歳児保育へのスムーズな移行。 	総務学務課

(3) 家庭や地域の教育力の向上

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
74	家庭教育手帳の配布と活用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育手帳の配布】 ・家庭教育手帳を2歳児健診時に配布し、家庭教育の重要性を啓発しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者に配布することができました。 	健康づくり推進課
			<ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育手帳の配布】 毎月1回、2歳児検診の機会に家庭教育手帳を配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の重要性や子育ての知識など情報を提供することができました。 	社会教育課
75	家庭教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園単位で、保護者等で組織する家庭教育学級を設置し、子育てに関する研修や子育てについて話し合える環境づくりを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【家庭教育学級】 ・9学級、318名、合計38回開催。家庭教育力の向上を目的に実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて学び、家庭で実践するなど家庭の教育力が高まりました。また、保護者同士のつながりが深まり、子育てについて話し合える環境が向上しました。 	社会教育課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
76	乳幼児健診会場でのブックスタート事業の推進	・乳幼児健診時に絵本を通した親子の温かなふれあいについて説明し、ブックスタートバックを配付しています。	【ブックスタート】 ・毎月1回、4・5か月検診の機会に開催。保護者に絵本を通した親子の絆づくりについて説明しながら絵本や資料を手渡しました。	・絵本を通した親子のふれあい活動について理解が深まりました。また、図書館・室の利用が促進されました。	社会教育課
77	男女が協力して家庭を築くこと、子どもを生み育てることの意識啓発	・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、子育て孫育てセミナーを実施しています。	【子育て孫育てセミナー】 ・子育てに関する正しい知識の普及啓発や、親同士の交流による育児の孤立化の予防等を目的に、地域の愛育委員栄養委員の活動として親子交流会を実施しました。	・地域で子育てに関わるという趣旨を深めることができました。	健康づくり推進課
78	スポーツの振興	・体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を支援しています。	・スポーツ少年団等青少年団体、体育協会の事業については、社会体育施設の使用料を100%減免しました。また、活動費補助金についても、市体育協会・市スポーツ少年団、B&G海洋クラブに対し交付しました。	・使用料減免・活動補助金の交付により、スポーツ少年団活動・体育協会事業について、規模を縮小することなく実施することができました。	社会教育課
79	男女共同参画の意識啓発 【再掲】No. 43、65	・市広報に男女共同参画週間を紹介する記事を掲載しています。	・岡山県男女共同参画推進センター等から情報提供のあったチラシや「ウイズカレッジ」等の講座について、市ホームページに掲載し、市民への広報を行いました。	・ホームページやチラシを市内関係施設に配布するなど、市民へ関連の啓発事業について広報できました。 ・瀬戸内市男女共同参画基本計画の見直しについては、実行可能な計画にしていこうと、継続して検討し、23年度に持ち越しとなりました。	まちづくり推進課 【再掲】
80	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 25、107	・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。	・安心子ども基金（地域子育て創生事業）を活用し、「子どもと子育てを応援する環境づくり」に向け、既存の市子育て支援ネットワークを活用しながら、子育て応援まちづくりイベント「せとうち子どもフェスティバル」を開催しました。来場者約1,500人。	・約180人のイベント参加者のうち、愛育委員や栄養委員、読み聞かせボランティアグループなど、約120人がボランティアとして参加。子育て支援の輪を広げながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。	子育て支援課 【再掲】
81	子どもを対象とした地域の大人が主体となる体験講座の充実 【再掲】No. 27	・子どもや親子を対象に、地域の大人が講師となり、郷土料理や季節の行事などを体験する講座を開催しています。	・子どもや親子を対象に、地域の高齢者が講師となり、郷土料理や季節の行事など、講座を開催。	・「〇〇名人さんに教わろう」、「おじいちゃんといっしょに」等の講座で、幼児と高齢者の交流が深まりました。	総務学務課 【再掲】
			【子ども体験教室（各公民館）】 ・週末を中心に子どもの体験活動を提供。活動の講師等に地域の大人が協力。 わくわくチャレンジ 25回 1,560人 お話し会 62回 530人 うさぎの学校 11回 404人	・地域の大人が活躍して子どもに豊かな体験活動を提供することができました。	社会教育課 【再掲】

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

(1)バリアフリーのまちづくり

①安心して外出できる環境の整備

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
82	公共施設等の子ども及び親子連れに配慮した施設機能の充実	・一部の公共施設には、子ども用便器や手洗い器、ベビーベッド・チェアが設置されています。	・安心こども基金（地域子育て創生事業）を活用し、ゆめトピア長船及び市内3公民館（中央、牛窓、長船）に授乳室・スペースを設置しました。	・乳幼児を抱える保護者が利用しやすい環境に整備できました。	子育て支援課 関係各課
83	鉄道駅等の旅客施設、バス車両等のバリアフリー化	・JR長船駅のホームと電車との段差解消について、早期の実施を要望しています。	・JR長船駅の段差解消改良工事が完了しました。	・JR西日本への度重なる陳情により、予定より早期に工事を完了してもらうことができ、安全に電車の乗降ができるようになりました。	総務課
84	歩行空間のバリアフリー化	・市道改良工事と合わせ、歩道の新設や改良を実施しています。	・市道南北線新設工事 L=4,460m W=2.5m ・市道山田庄山手2号線改良工事 L=320m W=2.5m	・市道2路線において4,780m間の歩道整備を完了しました。	建設課
85	ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	・未実施。	・市内のバリアフリー設備を備えた建物にバリアフリーステッカー1枚を交付しました。	・市民に向けたバリアフリー化の意識啓発につながりました。	福祉課 関係各課
86	子育てにやさしいまちづくりへの理解の促進	・未実施。	・安心こども基金（地域子育て創生事業）を活用し、市内の商店・施設等におむつの交換台や授乳スペース等があるかどうかを表示した子育て応援マップを作成。市役所等の保健福祉窓口、保育園等に設置しました。	・市民に市内事業所・施設等の子育てバリアフリー情報を伝えるとともに、マップの作成を通じて、市内公共施設はもちろん、民間の商店・施設等の事業者に対して、子育て環境整備について考えさせる良い契機となりました。	子育て支援課

②良質な住宅・居住環境の確保

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
87	分譲住宅地の販売促進	・定住促進団地の販売とともに、チラシや住宅情報誌を活用したPRを実施しています。 ・空家情報バンク制度による定住促進事業を実施しています。	・21年度に県が実施した空き家調査のデータを基に所有者へ登録の働きかけをしました。が、補修や片づけ等の課題があり、利用希望者は多いのですが、なかなか空き家バンクへの登録にいたっていません。 ・住宅情報誌「スーモマガジン」、「田舎暮らしの本」「ステップハウスマイホーム」への掲載、インターネット版「スーモマガジン」への掲載により情報提供を行い、多くの問い合わせ（20件）、成約（3件）にもつながりました。 ・大阪で開催の定住フェア、相談デスク（2回）に出向き、PRを行いました。	・住宅情報誌への掲載は効果的で、問い合わせ等も増加しました。 ・実際に住まれている方からのアドバイスはとて参考になり、PRにもなりました。 ・空き家の登録件数が少ないのが課題です。	まちづくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
88	老朽化した公営住宅の計画的な建替及び改修事業の実施	・公営住宅の中には築後30年を超えるものもあり、老朽化が課題となっています。	・公営住宅等長寿命化計画の策定が完了しました。	・公営住宅等長寿命化計画の策定が完了したことにより、今後10年間の方針が決定しました。	建設課
89	住宅増改築相談の充実	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回実施しています。	・相談員による住宅の増改築や耐震対策に関する相談を月1回、計12回実施しました。	・平成22年度は9件の相談を処理しました。	建設課

(2)安全・安心なまちづくり

①交通安全の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
90	交通安全に関する意識の啓発	・市広報や市HPを活用して、子どもの交通安全に関する啓発を行っています。	【交通安全対策事業（交通指導）】 ・春・秋の交通安全県民運動をはじめ、幼稚園、保育園での親子交通安全教室等を開催しました。	・警察や交通安全母の会等の団体と協力し、幼児から高齢者に至るまでの交通安全の啓発を図りました。	総務課
91	チャイルドシートバンクの充実	・瀬戸内交通安全協会と連携し、チャイルドシート、ベビーシート、ジュニアシートの貸し出しを実施しています。	・交通安全協会と連携し、幼児の乗車時チャイルドシート装着の啓発・指導を行いました。	・チャイルドシートについては、定着していますが、今後も引き続き啓発を行います。	総務課
92	交通安全対策協議会の運営と連携強化	・交通安全対策協議会を春・秋の2回開催し、関係団体が一体となって交通安全活動を実施しています。	【交通安全対策事業（交通指導）】 ・春の交通安全運動（H22.4.6～4.15） ・秋の交通安全運動（H22.9.21～9.30）	・警察や交通安全母の会等の団体と協力し、幼児から高齢者に至るまでの交通安全の啓発を図りました。	総務課
93	交通安全施設等の整備	・瀬戸内交通安全協会等と連携して、通学通園路を中心に交通安全看板などの設置を実施しています。	・瀬戸内交通安全協会等と連携して、通学通園路を中心に交通安全看板などの設置を実施。	・交通安全施設の設置について、交通安全協会と連携し、実施しました。	総務課
			・カーブミラー36基、ガードレール396.5mの交通安全施設設置を実施しました。	・交差点36か所及び市道396.5m間で安全対策を図りました。	建設課

②子どもを犯罪等の被害から守る活動の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
94	自主防犯行動の促進に向けた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市HPを活用して、防犯情報を提供しています。 ・子どもの安全にかかわる事件や不審者等の情報を、携帯電話やパソコンに電子メールで配信しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙、市ホームページ、行政無線を活用した防犯情報を提供しました。 ・子どもの安全にかかわる事件や不審者等の情報を、携帯電話やパソコンに電子メールで配信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯情報を提供することで未然に犯罪が防止できています。 ・安心メール受信登録件数918件 ※平成23年3月現在 	<ul style="list-style-type: none"> 総務課 総務学務課
95	防犯灯の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会からの要請による防犯灯の設置とともに、防犯灯を設置する自治会に対して補助金を交付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【防犯灯新設事業・防犯灯新設補助事業】 ・市所有防犯灯新設数10機。 ・自治会所有防犯灯新設補助数12機。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯は夜間の市民の安全・安全確保のためにも必要な設備であり、今後は地球温暖化対策も考慮し、LEDの導入を促進します。 	総務課
96	防犯ボランティアの育成及び活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域に結成された自主パトロール隊との合同パトロールを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【青色防犯パトロール】 ・週1回、学校の下校時間帯に安全・安心パトロールを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、幼稚園の下校時にパトロールを実施することにより、こどもの安全・安心を保持できています。 	総務課
97	市民を対象とした防犯学習機会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員定例会で防犯講話を行い、登下校時の見守り活動など、子どもの安全確保についての啓発を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【地域防犯対策事業】 ・瀬戸内市防犯連合会を中心とした地域防犯活動を継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯連合会、警察の協力により地域の防犯活動に寄与しています。 	総務課
98	小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施 【再掲】 No. 109	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(GAP)を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内10小学校のうち4校の協力が得られ、児童対象には、延べ7クラスに実施し、保護者対象には、延べ4回実施しました。 ・教職員対象では、校内研修として取り組まれた小学校が1校で、残りの3校については、市が主催で2回開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの暴力（児童虐待・いじめ・誘拐など）防止を目的として、子どもや保護者の人権意識を育み、子ども自身のエンパワメントをめざすものであり、本年度は、学校ぐるみでGAPを実施した学校が1校あり、コミュニティ単位で子どもを守る取り組みとして評価できます。 	子育て支援課
99	防犯連合会等との連携による子ども110番制度の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校でPTA等を通じて、子ども110番の引き受け場所を確保し、掲示札の掲示及び緊急避難場所としています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校でPTA等を通じ、子ども110番の引き受け場所を確保しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども110番」の看板設置による犯罪抑止効果。 	総務学務課
100	情報モラル教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校で、インターネットや携帯電話によるいじめや有害情報に対する教職員研修を実施し、児童生徒への指導を行っています。また、家庭への啓発を行っています。 ・関係機関と協力して、学校裏サイト等のチェック体制を整備しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての小・中学校で、インターネットや携帯電話によるいじめや有害情報に対する教職員研修を実施し、児童生徒への指導が充実。 ・学校、学級便り、懇談会等で、家庭への啓発を促進。 ・関係機関と協力して、ネットパトロールを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話によるトラブルの早期発見・未然防止。 	総務学務課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
101	関係機関における防犯に関する意見交換の充実	・教育委員会、警察署、防犯連合会等との意見交換を随時実施しています。	【地域防犯対策事業】 ・防犯連合会をはじめ、市内の防犯活動団体で構成した「安全・安心ネットワーク推進連絡会」を開催し、意見交換を行いました。	・「安全・安心ネットワーク推進連絡会」を開催することで、各種防犯活動団体の課題を把握することができ、今後の防犯活動の参考となりました。	総務課

③被害にあった子どもの保護の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
102	子ども人権相談の充実 【再掲】No. 30	・夏休み・冬休み・春休み期間に、子ども向け人権相談を開催しています。子ども本人からの相談に加え、保護者からの相談も受け付けています。	【子ども人権相談】 ・通常の人権相談と併設して、夏休み・冬休み・春休み期間に子ども向け人権相談を開設。人権擁護委員と連携を図り、会場の確保や啓発活動を実施。 牛窓会場： 8/25、12/22、3/30 邑久会場： 8/19、12/27、3/28 長船会場： 8/27、12/24、3/25	・計画どおり実施。子どもへの周知が不足していました。	市民課 【再掲】
103	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 31、108	・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。	・代表者会議5/18に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議12回開催。	・会議を設けることで、要保護児童に係る情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。特に、困難ケースについては、個別ケース検討会議を設け、児童相談所や学識経験者のスーパーバイズを受けて、関係者がケース情報や課題を共有し、支援の役割を確認し、支援体制を整えることができました。	子育て支援課 【再掲】

基本目標5 支援が必要な子どもと家庭への取り組みの推進

(1) 児童虐待防止対策の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
104	子どもの人権や児童虐待防止に関する啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年11月号の市広報に虐待防止に関する記事を掲載しています。 ・平成17年度に児童虐待防止等ネットワークによる啓発チラシを全戸配布しています。 ・毎年、児童虐待防止推進月間にあわせて、関係機関(者)へ啓発ポスター・チラシを配付しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県作成のポスターを掲示。また全国一斉「子どもの人権110番」強化週間（6月28日～7月4日）には、市ホームページを活用した啓発活動を実施。 ・児童虐待防止推進月間の11月には、関係機関（者）へ啓発ポスター・チラシを配布しました。また、市広報紙11月号に、児童虐待防止推進月間の記事を掲載しました。さらに、せとうち子どもフェスティバルの機会をとらえて、オレンジリボン運動の一環で「あなたにできること」の周知を図るべく、ロゴ入り種子を配布しました。 ・0歳児の虐待死亡事例の原因の多くを占める「乳幼児揺さぶられ症候群」の予防啓発記事を市広報紙3月号に掲載しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施。 ・全国的に取り組まれる児童虐待防止推進月間に併せて、各種広報媒体を活用して市内で啓発活動を展開することで、相乗効果を起こしていると期待できます。 ・乳幼児揺さぶられ症候群は、赤ちゃんを世話をする人による衝動的な揺さぶり行為によって頭部損傷を起こし、重度障害や死亡の原因となる、とても深刻な児童虐待なので、市広報紙を通じて、市民への意識啓発を図ることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民課 子育て支援課
			<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等による新生児・乳児訪問を行い、育児上の不安や悩みの軽減を図っています。 ・愛育委員が生後4か月までに赤ちゃん訪問を行い、手作りおもちゃの贈呈や乳幼児健診への受診勧奨等を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【虐待防止啓発】 ・No. 104に同じ。 【保健師等による乳幼児訪問】 ・支援が必要な家庭を継続的に訪問し、相談にのりました。 【愛育委員訪問活動】 ・愛育委員による声掛け訪問を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・No. 104に同じ。 ・若年妊産婦や、地域で支援が得られにくい世帯が多くなっていることから、保健師等による訪問や地域の愛育委員の見守りは重要になっています。
106	養育支援が必要な家庭への訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業をはじめ、関係機関で把握された支援が必要な家庭に対して、訪問指導を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【養育支援訪問事業】 ・養育支援訪問事業は、養育支援が必要な9家庭を対象に、保健師・助産師・保育士が定期訪問し、延べ63回の専門的な支援を行いました。 【保健師等による乳幼児訪問】 ・保健師、助産師により乳幼児全戸訪問を行いました。養育支援事業が必要な家庭について子育て支援課との連携を持って対応しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未婚で若年出産、育児不安が強い、多胎児出産など、養育面が心配な家庭について、定期訪問により、専門職が助言・指導をすることで、赤ちゃんへの愛着が順調に形成されるとともに安定した育児へと繋がり、養育の確保が達成されました。 ・訪問事業は多くの場合、喜んで訪問を受け入れてくれるが、数件訪問を拒否されました。訪問事業の理解を更に得るとともに、拒否された家庭への介入が必要となっていました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課 健康づくり推進課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
107	子育て支援ネットワーク事業の推進 【再掲】No. 25、80	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待などの要保護児童の早期発見や早期対応をはじめ、すべての子どもと家庭への支援を目的とした関係機関・民間団体等によるネットワークを構築しています。 ・構成メンバーによるネットワーク連絡会を設置し、研修会や交流会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心子ども基金（地域子育て創生事業）を活用し、「子どもと子育てを応援する環境づくり」に向け、既存の市子育て支援ネットワークを活用しながら、子育て応援まちづくりイベント「せとうち子どもフェスティバル」を開催しました。来場者約1,500人。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約180人のイベント参加者のうち、愛育委員や栄養委員、読み聞かせボランティアグループなど、約120人がボランティアとして参加。子育て支援の輪を広げながら、子育ての楽しさ、喜びを市民に伝えることができました。 	子育て支援課 【再掲】
108	要保護児童対策地域協議会による支援の推進 【再掲】No. 31、103	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会を設置し、代表者会議を年1回、実務者会議を月1回、個別ケース検討会議を適宜開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議5/18に開催。実務者会議毎月開催。個別ケース検討会議12回開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議を設けることで、要保護児童に係る情報や課題を共有し、支援体制を整えることができました。特に、困難ケースについては、個別ケース検討会議を設け、児童相談所や学識経験者のスーパーバイズを受けて、関係者がケース情報や課題を共有し、支援の役割を確認し、支援体制を整えることができました。 	子育て支援課 【再掲】
109	小学生や保護者を対象とした児童虐待・いじめ等の暴力防止教育の実施 【再掲】No. 98	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生とその保護者及び教職員を対象に、子どもへの暴力防止/人権教育プログラム(CAP)を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内10小学校のうち4校の協力が得られ、児童対象には、延べ7クラスに実施し、保護者対象には、延べ4回実施しました。 ・教職員対象では、校内研修として取り組まれた小学校が1校で、残りの3校については、市が主催で2回開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの暴力（児童虐待・いじめ・誘拐など）防止を目的として、子どもや保護者の人権意識を育み、子ども自身のエンパワメントをめざすものであり、本年度は、学校ぐるみでCAPを実施した学校が1校あり、コミュニティ単位で子どもを守る取り組みとして評価できます。 	子育て支援課 【再掲】

(2)ひとり親家庭への支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
110	母子自立支援員による相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・母子及び寡婦福祉法に基づく母子自立支援員を市福祉事務所に設置し、ひとり親家庭の子育てや就労等に関する相談や情報提供を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【母子自立支援員】 ・就労支援相談11件（母子自立支援プログラム2件）、母子寡婦福祉資金貸付相談11件、母子家庭教育訓練給付金等相談6件など、472件の相談や情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の各種相談に応じ、適正に対応できています。 	子育て支援課
111	ひとり親家庭等生活支援事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等への生活援助や子育て支援を行うことを目的に、家庭生活支援員の派遣を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ひとり親家庭等生活支援事業】 ・登録件数2件、派遣件数1件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制度周知はできていますが、利用者が少なかったです。委託業者と家庭生活支援員との調整が難しいです。 	子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
112	ドメスティックバイオレンス(DV)防止に関する啓発と被害者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報等でDV防止に関する啓発を実施しています。 ・被害者等から相談があった場合には、女性相談所や警察署等への紹介や連絡を行っています。 ・家庭訪問、乳幼児健診、育児相談等を早期発見の機会と捉え対応するとともに、状況に応じてこころの健康相談を紹介しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【DV対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・DV対策に関する相談窓口を設置し、関係機関との連携等体制を整えました。5月7日に犯罪被害者支援（DV含む）に係る市役所内関係課長連絡会議を開催しました。 【相談支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・DV被害者支援では、専門機関へ繋ぎ、保護の支援を行いました。 ・市内同居で在宅の場合には、児童所属校へ、見守り支援を依頼し、関係機関（者）による支援体制を整えました。 ・加害者とは別居し、転出した場合には、転出先の市町村への情報提供し、支援が途切れないように引継ぎをしました。 ・乳幼児健診や、妊婦相談時にDVIについての観点からも相談に応じました。DVを疑う事例がありましたが、父親も含めて相談に応じ、継続的な支援に当たっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施。 ・DV被害者の意思を前提として、専門機関との連携を図り、保護支援につながりました。 ・DVは受けている本人には、被害者だという意識が無い場合もあることから、相談を受けた場合DVの可能性はないかという視点からも注意深く対応する必要があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民課 子育て支援課 健康づくり推進課
113	経済的支援による自立支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等医療費の助成制度を実施しています。 ・市民税非課税世帯のひとり親家庭を対象に、保育所保育料の減免を実施しています。 ・児童扶養手当法に基づく児童扶養手当を支給しています。 ・母子及び寡婦福祉法に基づく瀬戸内市母子家庭自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費の活用を促進しています。 ・県の母子寡婦福祉資金貸付制度の窓口業務を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ひとり親家庭等医療費の助成】 <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等医療費の助成制度を実施しています。 【保育料減免】 <ul style="list-style-type: none"> ・市民税非課税世帯のひとり親家庭を対象に、保育所保育料の減免を実施。 【児童扶養手当】 <ul style="list-style-type: none"> ・3/31時点で、261名が受給。全部支給停止は46名。 【自立支援教育訓練給付金等】 <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練給付金0件、高等技能訓練促進費1件。 【母子寡婦福祉資金貸付制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規貸付13件、継続貸付4件、償還新規4件、償還継続7件。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施。 【保育料減免】 <ul style="list-style-type: none"> ・市からも制度周知し、該当世帯は保育料の減免を受けました。 【児童扶養手当】 <ul style="list-style-type: none"> ・父子家庭への拡充もあり、受給者が増加しました。制度周知方法に課題が残りました。 【自立支援教育訓練給付金等】 <ul style="list-style-type: none"> ・相談は数件ありましたが、利用者が少なかったです。 【母子寡婦福祉資金貸付制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・新規貸付が多く、制度説明の徹底など充分評価できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民課 子育て支援課
114	交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度開催地となった岡山県母子寡婦福祉研修会（県大会）を機会に、「お母さんの集い」を開催しています。（その結果、瀬戸内市母子寡婦福祉連合会の母子部会ができています。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭ふれあい交流を7/24に実施。7組の家庭が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・把握している母子家庭・父子家庭に通知をしましたが、参加者が少なかったです。企画内容、事前の広報、日程等を検討する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
115	女性を対象とした相談体制のあり方に関する検討	・平成18年度に、人権啓発室・福祉課・子育て支援課・健康づくり推進課で、連携体制について検討しています。	・女性特有の人権問題に対応する相談窓口を設置し、関係機関との連携等体制を整えました。5月7日に犯罪被害者支援（女性特有の人権問題含む）に係る市役所内関係課長連絡会議を開催しました。	・計画どおり実施。	市民課 関係各課

(3) 障害児施策の推進

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
116	障害の早期発見・早期対応	・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。	【乳幼児健診での発育・発達チェック及び支援検討会議の実施】 ・乳幼児健診で多職種のスタッフによる発育や発達等のチェックを実施するとともに、健診終了後のカンファレンスで要フォロー児の検討を実施しています。 【要精密検査必要児への支援】 ・要精密検査必要児の保護者に対して、十分な状況の理解や納得を得た上で、専門機関への受診勧奨を行っています。	・心理の職員を配置し、必要な方が相談できる体制はできていると思いますが、随時相談がある場合の対応ができるよう、常勤の心理職員の配置が必要と考えます。	健康づくり推進課
117	発育や発達に関する相談体制の充実	・専門医による幼児の発育や発達についての相談を年3回実施しています。	【発達相談の実施】 ・専門医による幼児の発育や発達についての相談を年3回実施しています。相談件数23件。	・年3回の実施については有効に利用ができていると思われます。	健康づくり推進課
118	障害児保育の充実	・すべての認可保育所で受け入れ体制は整備されていますが、利用ニーズ等により平成21年度は5か所の保育所で実施しています。	・平成22年度は私立保育園1か所へ事業委託を行い、公立保育園と合わせ計6か所で実施。	・各保育園で利用ニーズに応じた障害児保育が行うことができました。ただし、障害児など加配の必要な児童が増えており、受け入れのためには保育士の確保が課題です。	子育て支援課
119	教育相談・指導体制の充実	・小学校1校の情緒障害に係る通級指導教室で、対人関係能力等に関する指導を行っています。 ・養護学校と連携を図りながら、各学校で教育相談を実施しています。 ・市医師会、児童相談所、養護学校、市担当課、保・幼・小・中の代表者が参加する就学指導委員会を年2回開催しています。	・小学校1校の情緒障害に係る通級指導教室で、対人関係能力等に関する指導を実施。 ・特別支援学校と連携を図りながら、各学校で教育相談を実施。 ・市医師会、児童相談所、特別支援学校、市担当課、保・幼・小・中の代表者が参加する就学指導委員会を年2回開催。	・通級指導教室への教育相談希望が増加。 ・通常学級における支援を要する児童の増加。 ・各機関との連携の強化。 ・教育現場での専門家不足。	総務学務課

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
120	学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市及び備前地区の特別支援ネットワークを活用し、関係者によるケース会議等を開催しています。 ・特別支援学級の設置について、県教育委員会に要望しています。 ・通常学級に在籍する発達障害の児童生徒を支援するため、県からの加配教員や市で支援員を配置しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市及び備前地区の特別支援ネットワークを活用し、関係者によるケース会議等を開催。 ・特別支援学級の設置について、県教育委員会に要望。 ・通常学級に在籍する発達障害の児童生徒を支援するため、市費による支援員を増員配置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者間の連携の強化。 ・支援員増員による、きめ細やかな支援体制が充実。 	総務学務課
121	障害に関する正しい知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報や市HPで、障害手帳や各福祉制度の周知を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報紙や市ホームページ・パンフレットで、障害者手帳や各種福祉制度の周知を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に多様な情報を提供でき、障害に関する正しい知識の普及が図れました。 	福祉課
122	自立支援及び地域生活支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法に基づく瀬戸内市第2期障害福祉計画を策定し、障害のある人の自立や地域生活の支援を進めています。 ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施するとともに、指導員の資質向上のため研修会を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市第2期障害福祉計画に基づき、訪問系・日中活動系サービス及び地域生活支援事業を実施しました。 ・障害のある子どもを受け入れている放課後児童クラブを対象とした障害児受入サポート事業（委託料の加算）を実施。 ・発達障害に関する研修会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害がある人の日常生活の向上や社会参加の促進につながっています。 ・障害児に関する研修会などへの積極的な参加があり、放課後児童クラブ指導員の資質向上が図れています。 	福祉課 子育て支援課
123	特別児童扶養手当、特別障害者手当の支給	<ul style="list-style-type: none"> ・特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当、特別障害者手当を支給しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身障害児の保護者43人に手当を交付し、心身障害児の福祉の増進が図れました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、本制度の周知を図るとともに、今後も国の制度に基づき実施します。 	福祉課

(4)すべての子どもと家庭への総合的な支援

NO.	施策・事業	現状（平成21年度末）	平成22年度実施状況	評価	担当課
124	子どもと家庭の総合的な相談・支援の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年4月から児童相談援助業務が市町村で開始されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相談が新規で65件ありました。そのうち60件は児童虐待の通告・相談でした（家庭調査後、非該当5件を含む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待相談通告ケースが激増しており、関係者や地域住民の児童虐待への意識が高まっていることも一因と考えられますが、背景としては、複雑な家族構成（離婚再婚の繰り返し）の家庭が増えてきたこと、保護者が精神不安定で治療中、経済的な困窮などの複数の問題を抱えるケースが増えており、ケースを総合的にアセスメントしながら支援体制を整えることができました。 	子育て支援課
125	子どもと若者の総合的な支援の体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待、いじめ、少年による重大事件の発生、有害情報の氾濫、ニートやひきこもり、不登校、発達障害、精神疾患など、子ども・若者をめぐる環境の悪化や問題の深刻化が指摘されています。国は平成21年7月に「子ども・若者育成支援推進法」を制定し、総合的な支援体制の構築を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県等の動向について情報収集しました。 ・情報収集に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識を有する機関や人との連携が必要になり、瀬戸内市独自で進めることは困難。岡山県全体でのシステムづくりについて、県の方針を確認してすすめる必要があります。 ・市の総合的な体制作りのため、さらに情報収集に努める必要があります。 	社会教育課 関係各課 子育て支援課 関係各課